

陳情第28号	受理年月日	令和3年5月24日
付託委員会	総務財政委員会	
件名	時の政権が天皇を利用して政策を遂行させないことを求める請願について	
要旨	<p>2019年4月1日の新元号公表、5月1日の新天皇即位に対するマスコミの過熱報道により、今日ほど天皇が国民に好意的に受け止められていることは誠に驚きである。明仁天皇の象徴の務めが、天皇人気を醸し出したと言っても過言ではない。朝日新聞の世論調査では皇室に親しみを持っているが76%、持っていないが17%であったが、先代の裕仁天皇の時代では、親しみを持っているが21%、持っていないが43%であった。尊敬の念を持っている割合は1993年の調査では21%であったが、2018年では41%と倍増しており、明仁天皇は尊敬心をも獲得している。</p> <p>時の政権にとっては、政権の浮揚、強化を図りたい、政策を遂行したいために、天皇を利用したいという誘惑にかられることは避けがたい。明治の新政権が天皇を徹底的に利用して、日本を統一し、昭和の政権は天皇を現人神に祭り上げ、絶対的権威を与え、天皇教とも呼ばれるカルト国家をつくり、教育勅語によって、子供たちを洗脳し、天皇のために命をささげることが、男子の本懐とさせた。それによって、成人男子は徴兵され、異国の地において、天皇陛下万歳を叫んで、数十万人以上の若き兵士が散っていった。さらに、人間爆弾として特攻隊をつくり、若き命を犠牲にさせた歴史を顧みなければならない。</p> <p>最近の現政権はこの禁じ手を侵しつつある。元号の令和決定に関与し、天皇即位に関して大嘗祭を国事行為とするなど、憲法違反行為によって政権の強化を図っている。また、内奏そのものが天皇が政治に関わってはならないという憲法第4条に抵触するにもかかわらず、安倍前総理は新天皇への内奏写真を公表させた。さらには、新天皇の初めての外国首脳との会見にトランプ前米国大統領を設定し、現政権の政治力を国民に見せつけた。</p> <p>天皇利用は時の政権が、政治権力強化のために、また、政策を遂行さ</p>	

(続 く)

せるために、最も手っ取り早く、しかも確実に遂行できる誘惑にかられる。しかし、その結果は惨たんたるものであることは、15年戦争が証明しており、特に太平洋戦争の沖縄戦において、多くの若い命が天皇にささげられた。

ついては、時の政権が天皇を利用して政策を遂行させないよう衆参両院議長に対し請願していただきたい。